

第120号

# ひこね 市議会だより

城まつりパレードが  
開催されました  
(11月3日開催)

平成24年11月臨時会 (11月19日)

平成24年12月定例会 (12月3日~12月19日)

- 議会で決まったこと …………… 2~5
- 子ども議会の開催 …………… 6~7
- 常任委員会視察報告 …………… 8~9
- 個人質問 …………… 10~15
- お知らせ …………… 16

11月臨時会

ひこねちゃんの  
商標権問題  
和解

ひこねちゃんの商標権について、  
原作者側と和解が成立



▲ひこねちゃん

12月定例会



空き家の放置に  
適正な管理を

空き家等が放置され、管理ができない  
状態になるのを防止し、市民生活の安  
全・安心を確保

▲空き家

学校給食センター  
建設に向け、  
さらに前進へ

学校給食を通じた食育の推進や学校給食の充実に  
を図るため、彦根総合地方卸売市場に建設予定  
の中学校給食センターは豊郷町に加え、甲良町  
とも共同運営することを議決



▲彦根総合地方卸売市場

民間保育所施設整備事業  
1億833万円



▲保育園の様子

平成26年4月、正法寺町に  
定員90名の新たな保育所の  
開設を計画



▲4種混合ワクチン（※イメージ画像）

予防接種事業  
480万円

現行の3種混合ワクチン（百日せき・ジフテリア・破傷風）に不活化ポリオワクチンを加えた4種混合ワクチンの導入に伴い、予防接種委託料を増額

通学路安全対策事業  
2050万円



▲外側線

早急に安全対策が必要な箇所に外側線の設置やカラー舗装を行い、通学路の安全対策を講じる

〈実施路線〉

（カネボウ前線、大敷東大敷団地線、高宮駅鳥居上線外、清崎南川瀬線、石寺稻里線、田附本庄線）

# 常任委員会レポート

## 中学校給食センター整備・運営に関する甲良町との協定変更

### 企画総務消防

〈11月臨時会〉

#### 審査

- 「ひこにゃん」に係る商標権侵害行為差止等請求事件の和解に関する議決

#### 内容

- 裁判所からの和解勧告に従い和解

#### 結果

- 議案は原案のとおり可決

#### 審査

〈12月定例会〉

- 条例改正案 3件

- 滋賀県自治会館管理組合の規約変更、解散に関する議決案件 3件

- 湖東定住自立圏形成協定の変更に関する議決案件 1件

- 工事請負契約の変更に関する議決案件 1件

#### 内容

- 法律の改正に伴う特別職報酬等審議会、証人等の実費弁償、暴力団排除に関する彦根市条例の一部改正

- 滋賀県自治会館管理組合の規約変更・解散・財産処分に関する議決

- 中学校給食センター整備・運営に関する甲良町との協定変更

- 彦根市防災行政無線移動系デジタル化整備工事の請負契約の変更

#### 結果

- 議案はいずれも原案のとおり可決

## 彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部を改正

### 福祉病院教育

#### 審査

- 彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部を改正する条例案

- 彦根市ふたばデイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて

- 彦根市中老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて

#### 内容

- 放課後児童クラブの管理運営を教育委員会で一括して行うことにより、児童に係る情報について学校との連携がスムーズになり、より適切な指導や保育ができるようになる

- 指定管理者の指定に関しては彦根市ふたばデイサービスセンターの指定管理者および彦根市中老人福祉センターの指定管理者の指定の2件が引き続き指定を受ける

#### 結果

- 議案はいずれも原案のとおり可決

# 常任委員会レポート

## 彦根市空き家等の適正化に関する条例の新規制定

### 市民産業建設

今後高齢化の進展等により増加すると思われる「空き家」の適正管理を定めた条例が新たに制定された

#### 審査

- ・ 地域分権を推進するために整備した条例 7件
- ・ 地域分権を推進する以外に新たに制定した条例 1件
- ・ 社会情勢の変化に伴い変更した条例 2件

#### 内容

- ・ 彦根市空き家等の適正化に関する条例  
今後増加する空き家を適正に管理する条例が提案されたことは、時宜にかなった対応と言える
- ・ しかし、ゴミ捨て場になる可能性や雑草・樹木の管理、さらには、罰則規定など検討すべき課題も多くあることから、運用や今後の一部改正に向けてさまざまな場面を想定し、内部の協議機関において慎重に検討されたい旨の意見が出された

#### 結果

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

## — 特別委員会 —

### 決算特別委員会 10月22日・23日開催

審査 平成23年度彦根市各会計歳入歳出決算について

#### 主な質疑

- 【一般会計歳入】
- ・ 市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料関係では、収入未済額・滞納繰越額の解消に向けた市の取り組みについて、不納欠損の理由について、各種使用料等の収益向上に向けた取り組み等について

#### 【一般会計歳出】

- ・ 定住自立圏構想の取り組みの成果について、荒神山自然の家の小・中学生、大人の利用状況および総括について、節電対策による光熱水費減の評価について、市庁舎非常用電源設備改修工事、SEオペレータ派遣委託料、消耗品費等の不用額発生理由等について
- ・ 乳児家庭全戸訪問事業の実績と効果について、旧港湾清掃事業、病院事業会計負担金の分析・評価等について

#### 【特別会計】

- ・ 国民健康保険事業特別会計での前年度に比べ多額な不納欠損の理由、未収金対策について、国保加入世帯数、滞納世帯数、保険料の県内順位、免除申請者数等について、出産育児一時金、特定健康診査等事業費の実績、不用額発生理由等について
- ・ 下水道事業での未収金対策について、市債減の理由と下水道普及率について
- ・ 彦根市休日急病診療所事業特別会計での小児救急医療業務の分析・評価について

#### 討論

賛成・反対それぞれの立場から討論あり

#### 採決結果

賛成多数で原案のとおり認定

# 子ども議会を開催しました

市議会では、会派を超えた議員有志による議会開放推進プロジェクトチームを組織し、市民に開かれた議会づくりを進めています。

その取組の一環として、11月10日（土）に子ども議会を開催しました。

彦根市の未来を担う小学校の児童に、子ども議会を通じて政治への関心を深めてもらい、彦根市の将来のことを考えて質問や提案をしてもらうことを目的に開催しました。

当日は、市内17小学校から29人の子ども議員が出席し、全体を3グループに分け、3人の議長が交代で議事を行いました。子ども議員からは、いじめ問題をはじめ、環境、災害、福祉、観光、教育など、市政全般にわたる質問があり、教育長をはじめ、各部長から答弁がありました。

質問の後、夏休みに開催された子ども国会に参加された若葉小学校の津野あみるさん、城西小学校の野口七海さんからの報告がありました。

傍聴にお越しいただいた方々には、

子ども議員が緊張しながらも堂々と発言する姿に感動し、本会議の雰囲気や市政の一端がわかり、大変良かったとの感想をいただきました。



## 第1グループの質問・提案概要

小学校	氏名	質問・提案内容
金城	才原 詩苑さん	熱中症による被害を防ぐため、各教室にクーラーを設置することについて
亀山	田中 彩音さん	通学路の安全対策について
金城	辰巳 稜真さん	彦根市のいじめの実態といじめに対する取り組みについて
若葉	寺村 伊織さん	市内の小・中学生が集い、いじめについて考える「いじめゼロサミット」の開催について
佐和山	山下 大貴さん	いじめをなくすための取り組みについて
若葉	白川 実優さん	平和を考える機会・場所づくりのため、被爆アオギリを公的な場に植樹することについて
城西	松宮 志音さん	彦根の観光(開催日数、イベント回数を増やすこと)について
城北	北川 裕之さん	① 彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みについて ② 観光客に彦根にとどまってもらう工夫について
城東	梶本 悠輔さん	外で遊べる場所を増やすことについて
河瀬	柏原 舞依さん	彦根市南部に図書館をつくることについて

## 子ども議会開催



### 第2グループの質問・提案概要

小学校	氏名	質問・提案内容
稲枝東	辻 賢人さん	市内の学校の雨漏りの点検と修繕をすることについて
旭 森	東野 悠さん	困っている人の声を受け取り、改善するための取り組みについて
城 南	中川 千晟さん	ホッケーの練習施設を整備することについて
城 東	河村 翔太さん	交通安全対策(歩行者用信号機の設置、歩道整備、わかりやすい標識)について
高 宮	鳥谷 俊輔さん	市民全員が参加する防災訓練を行うことについて
稲枝北	西村 友美さん	「環境テーマパーク」をつくる等、稲枝の人口を増やすための市の取り組みについて
平 田	田中ゆうきさん	彦根駅東口周辺での、ショッピングモール建設・今後の計画について
稲枝東	田中 海翔さん	全教室にクーラーを設置することについて
佐和山	土田 隆世さん	武将ブームを彦根の観光に活かすための市の取り組みについて
城 陽	宮川虎太郎さん	給食室に残留放射能検査器を設置することについて

### 第3グループの質問・提案概要

小学校	氏名	質問・提案内容
稲枝西	村田 真彩さん	学校に専任の先生がいる相談室を設置することについて
城 西	竹村 早織さん	城西小学校で行っているいじめのない学校づくりのような取り組みを全小学校で行うことについて
城 南	野坂 葵さん	① 外国人に彦根に親しんでもらえる資料館を増やすことについて ② 彦根に来たことが思い出に残るお土産を増やすことについて
旭 森	谷 宣輝さん	高齢者が安全・安心して暮らせる環境づくり、介護人材不足を解消するための取り組みについて
鳥居本	大久保美咲姫さん	利便性を高くする鳥居本地域の振興策について
城 陽	疋田 実央さん	鮎ずしを多くの人に食べてもらうための工夫について
高 宮	武山 優杏さん	彦根独自のまちなみづくりについて
平 田	上野 愛さん	観光ボランティアガイドの現状と今後の予定について
河 瀬	野瀬 竜声さん	学校にオリンピック選手やプロスポーツ選手を招くことについて

企画総務消防常任委員会

長岡市は、平成16年の新潟・福島豪雨、中越大地震の教訓を活かし、災害に強いまちをつくるため「長岡市防災体制強化の指針」を策定。また、全国初の「子育ての駅」と「市民防災の拠点となる「ながおか市民防災センター」は、平常時は防災学習や研修、災害時は災害ボランティアセンターや緊急物資一時集積所としての機能が備えられている。

柏崎市は、3年間に中越大地震、中越沖大地震と2度の大地震に遭われ、教訓を活かし、発生27分後には自衛隊派遣要請、40分後には市災害対策本部を設置するなど、早期対応、早期支援が図られた。2市の防災対策から、日頃からの防災意識や防災体制の大切さを実感した。

金沢市は、18の大学、28の専門学校がある学生のまちで、近年の郊外進出により、まちに活気を取り戻そうと学生のまち推

視察日：9月26日～28日

新潟県長岡市  
防災対策とながおか市民防災センターについて  
新潟県柏崎市  
震災時の対応と復興について  
石川県金沢市  
学生のまち・金沢推進事業について



▲防災公園の見学

進事業がスタートした。

学生が地域の牽引者として、自主的かつ自由な発想で事業を起すなど、産官学民が互いに連携した取組は、本市のまちづくりに変参考になった。

福祉病院教育常任委員会

今回の視察では、甲州市で食育に関する取組、諏訪中央病院では在宅診療について、八王子市では病児・病後児保育事業に関する取組など各分野の先進地視察をさせていただいた。今回は特に諏訪中央病院について報告させていただく。

長野県は高齢者の医療費が全国で最も少ないことで有名で



▲諏訪中央病院にて

ある。

さらに茅野市は長野県の中でも高齢者の医療費が一番少ない。その理由は、約30年に亘り、茅野市が諏訪中央病院と連携し、「食生活の改善と予防医学」に取り組んでこられたからである。

また、諏訪中央病院には、病院の中に「在宅診療部」があり、13～15名の医師が24時間365日在宅患者の往診をされている。

「食生活の改善と予防医学・在宅診療」この3つの取り組みが、地域の人々の健康を守り、高齢者の医療費が全国で一番少なかった理由である。彦根市でも今後「在宅医療」に取り組むと同時に予防医学の推進が重要であることを学ばせていただいた。

視察日：10月17日～19日

山梨県甲州市  
塩山式手ばかりについて  
長野県茅野市  
(諏訪中央病院)  
在宅診療について  
東京都八王子市  
病児・病後児保育について



市民産業建設常任委員会

横手市は、地域を活性化するにはまちの基幹産業である食と農に関わる産業を元気づけることであると捉えた。

地産地消の推進・県外へ販路を拡大する一方、発酵文化の発信・ブランド創り・特産品の開発を支援している。また、市民自らが地産地消に努める「チームプラスY」の活動は一考に値した。

米沢市は城下町であり、広域観光圏の推進をしており、本市とは似通ったまちである。各種イベントに加え、季節に応じた誘客の入りこみ増を図るため、PRの取り組みには目を見張るものがあった。また全国に散在する米沢ゆかりの人を「おしようしな大使」に任命する着実なPR活動には感銘を受けた。

川越市は公共施設や学校・住宅への太陽光発電システムを積極的に導入をしている。新エネルギー利用の取り組みが評価さ

れ、川越市は経産省により新エネルギー百選に選ばれている。また、住宅への太陽光発電補助は市の単独補助事業として全国で2番目に導入され、積極的な取組は大いに参考となった。



▲川越市役所屋上設置の太陽光パネルの見学

視察日：10月17日～19日

秋田県横手市  
食と農について  
山形県米沢市  
広域観光圏の推進について  
埼玉県川越市  
太陽光発電システムについて

議会改革特別委員会中間報告（10月31日開催）

委員会では、議会基本条例プロジェクトチームからの経過報告および議会開放のあり方について、協議した。

まず、議会基本条例プロジェクトチーム座長より、彦根市議会基本条例（案）の策定議論につき、経過報告を受けた。委員からは、条例内の用語の定義づけについて、整理された方が望ましいとの意見があり、今後、議会基本条例プロジェクトチーム会議で検討していくことになった。

次に、議会開放のあり方について、議論した。

現在、彦根市議会の「議会開放」の取組は、開会後の「議場コンサート」と、市内17小学校6年生を対象に開かれる「子ども議会」があり、現在、有志の議員によって構成される議会開放プロジェクトチームが運営している。

委員からは、これらの取組の効果や、議会開放プロジェクトチームという組織の位置づけ等につき、様々な意見が述べられた。委員会

では、彦根市議会の「議会開放」はどうあるべきか、どういう位置づけの組織で運営すべきか、という観点から検討することとし、会派に持ち帰り議論することになった。



馬場 和子



すばり、次期市長選挙への出馬は



▲市長選挙時の選挙看板

次期市長選挙への出馬についての決意は、オーケストラの指揮者として現時点では出馬する。市民や議員、職員と共に交響曲を奏でるためにも、ここで指揮者が代って市の事業を遅らせてはいけな

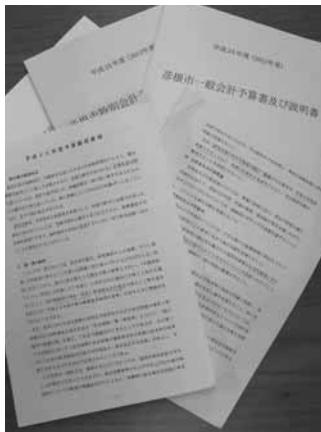
**Q** 獅山市長の通信簿、四年間の総括は。  
**A** 実質公債費比率18%未滿を達成、湖東圏域での取組推進や大きな節目の事業の成功、東日本大震災被災地支援などが大きな足跡であるといえる。  
**Q** 知事との対立を案じる声への見解は。  
**A** 対立関係ではなく彦根市の利害を守り、県政の間違いを正しただけ。  
**Q** 次期市長選挙への出馬についての決意は。  
**A** オーケストラの指揮者として現時点では出馬する。市民や議員、職員と共に交響曲を奏でるためにも、ここで指揮者が代って市の事業を遅らせてはいけな

**A** 指揮者として、現時点で出馬を決意



25年度使用料、手数料を見直さない事

▶ 予算書



25年度予算編成要領で歳入確保に向け、使用料手数料の見直しを図るとある。今の経済、社会情勢からその時期ではない。また、公共施設の飲料用自販機の設置につき、一般競争入札して増収を図った結果、市内中小業者が事実上の締出しとなった。再考する考えは。  
**A** 歳入確保の積極的な展開策として「受益者負担の適正化と自主財源の発掘」を図ると指針にある。考え方として使用料手数料の見直しがあるが現時点で見直す予定はない。飲料用自販機の入札については、運用において市内業者への配慮について検討する。

田中 滋康

**A** 現時点で全般的に見直す予定ない



地域公共建物の耐震化について



▲耐震診断

自治会館等地域公共建物の無料耐震診断および耐震化に対する補助制度が今後考えられないか。  
**A** 今回議員からの指摘もあり、また、従来補助の対象となる施設種類が限られていたが、今年度から県の交付金における対象施設についても避難施設要件が撤廃されたことから自治会館等に対する耐震診断について県の交付金を活用する形で今後検討していく。  
 また、耐震化に対する補助制度についても、前段と同様要件が撤廃されたことから、これも、県の交付金を活用する形で今後検討、考慮していきたい。

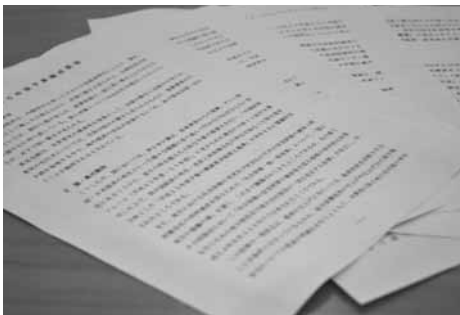
安居 正倫

**A** 自治会館等の診断・耐震補助を考慮

安藤 博



### 一件査定方式を導入する理由は何か



▲平成25年度予算編成要領

**Q** 「平成25年度彦根市当初予算編成要領について」では、平成17年度から導入していた「枠配分方式」から、新たに「一件査定方式」にて予算編成を行うとあるが、どのような方式か。

**A** 「一件査定方式」は、各部署からの予算要求に対し、査定する側が事業毎に一件一件査定し、これを積み上げていく方式の予算編成手法。

**Q** 導入の理由は何か。

**A** 彦根駅東土地区画整理事業やJR稻枝駅改築事業など大型事業の財源確保や類似事業の重複がないか確認を行い、前例踏襲を払拭し事業の精査をする必要があるため。



### 大型事業財源確保や前例踏襲を払拭

宮田 茂雄



### 地元要望への市の対応について



▲側溝整備

**Q** 地元要望への対応の可否判断はどのように。

**A** 現地状況等を把握し緊急性や必要性、予算等を総合的に判断し決定。

**Q** 対応可否の回答は詳しく早くするべき。

**A** より一層丁寧かつ詳細なものとし、基本的に概ね一ヶ月程度を目標に回答する。

**Q** 要望への対応工事等はできるだけ早期実施を。

**A** 緊急度の高いものから順次計画的に実施、大規模なものは調査等準備し、次年度に実施予定。

**Q** 要望対応のための平成25年度予算確保は。

**A** 市民が安全で安心できる快適な生活環境確保のための予算を見積る。



### 重要であり総合的に判断し対応する

山内 善男



### 原発・即時ゼロの市民の声に答えよ



▲原発やめよ 市内でも行進

**Q** 原発事故ではいまなお16万人が避難し収束などしていない。安全神話に基づいた国の政策で事故が起き、政府や電力会社を信用できないと国民は思っている。電力は猛暑の夏でも原発なしで足りた。原発・即時ゼロを政府や電力会社に決断するように促すことは福井の原発群への市民の不安に答えることであり、見解は。

**A** 情報は国が把握しているため、国の判断を尊重したい。

**Q** 市は全町避難している富岡町を支援してきたが福島の子ども達を滋賀の自然に招待できないか。

**A** 来年、夏休みに招待したいと考えている。



### 情報は国が把握 国の判断を尊重

辻 真理子



**放課後児童クラブを  
移管する理由は**



▲放課後児童クラブ

**Q** 放課後児童クラブを福祉保健部子育て支援課から教育委員会事務局教育部生涯学習課へ移管する理由は。

**A** 放課後児童クラブの管理運営を教育委員会で一括して行うことにより、施設利用について弾力的な運用ができるようになる。また、児童に係る情報について、更に学校との連携がスムーズになり、迅速で詳しい児童の情報共有ができ、より適切な指導や保育ができるようになると考えている。学びの場である学校の施設を活用し、子ども達が元気に安全に自由に過ごす場所を確保し、充実をはかることができる。



**教育委員会へ移管し  
学校と連携する**



**全小中学校の教室に  
エアコン設置を**



▲扇風機が設置されている教室の様子

**Q** 子ども達が安定した環境下で教育を受けることは健康保持や学力向上に欠かせない条件である。子ども議会でも「室温が37度を超え頭痛や熱中症状になる人もあり勉強に集中できず、ささいな事でもめ事が起こる。エアコンを早く設置してほしい」と訴えた。この現状で教育環境が守られていると考えているのか。設置に多額費用を要するのであれば、他市のように計画的に設置し教育環境を守るべきである。

**A** 全小中学校の普通教室に扇風機の設置をし教育環境確保に努めている。限られた予算でエアコン設置は難しい。

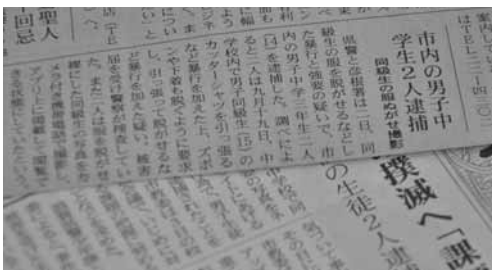


**厳しい財政状況のもと  
設置は困難**

山田多津子



**中学校における  
深刻ないじめ対応は**



▲いじめ問題による新聞報道

らの立直りに向けた指導が大切であり、その責任の重大さを痛感している。

**Q** 今回の生徒の逮捕について教育長はどのように考えているのか。

**A** 中学校では、入学当初からきめ細かく、また、粘り強く指導を継続し、重大事案に至らないよう努めてきた。しかしながら、服を脱がせ、裸の写真を撮り、アプリケーションに掲載するということ、人として許されない深刻かつ責任の重い事案が発生してしまった。これは明らかに犯罪であり、強要・暴行を認知した警察が逮捕に踏み切ったことは、やむえないものと思っている。教育長としては、将来ある少年たちの、これからの



**粘り強い指導を  
繰り返し努めていく**

北村 收

上杉 正敏



## 子育て3法の 具体化について

も園の  
在り方  
を今後  
検討し  
ていく。



▲保育所の様子

**Q** 子育て関連3法「認定こども園の一部改正法」、「子ども・子育て支援法」、「関係整備法」が成立した事による彦根市の取組みは。

**A** 「子ども・子育て支援事業計画」作成には、来年度予算に二一ズ調査費を計上し26年度前半に計画を作成したい。「地方版子ども・子育て会議」においても来年度の予算に計上し、国の構成を参考にし総合的に判断したい。認定こども園の拡充については、今後の国の動向に注視しながら、それぞれの移行によるメリット・デメリットを十分に検討し、本市にふさわしい幼保連携型の認定こども園の在り方を今後検討していく。



## 子育て3法実施に 向けての取組み

谷口 典隆



## 子どもの命に かかわる事故の防止を

をとおして教職員一人ひとりの危機管理に関する意識や資質の向上をより一層図っていききたい。



▲金亀公園管理事務所に設置されたAED

**Q** 教職員への救命講習の受講状況は。

**A** 全職員対象に3年に1度の講習を義務付けている。さらに救命講習の講師となる応急手当普及員を1校園に1名の配置を目標としている。

**Q** さいたま市教委が、児童の事故を受けて作成された「事故対応テキスト」を活用し、AEDの使用を含む心肺蘇生法の実習など危機管理体制の整備に活かしては。

**A** 同テキストを各校園に指導資料として配布すると共に、救命講習会をとおして教職員一人ひとりの危機管理に関する意識や資質の向上をより一層図っていききたい。



## 教職員の危機管理意識 より一層図る

安澤 勝



## 子どもたちの安全・ 安心のために

きるよう検討し、運用方法や利用開始時期、周知方法等の全体的な調整を経て、今後実施していく。



▲彦根市メール配信システム

**Q** 総合情報配信システムに「学校防災」カテゴリを組み入れるには。

**A** 「学校防災」カテゴリを追加し、教育委員会および各校園長からの情報配信できるシステム改善を行うことについては、技術的には可能な内容ではあるが、災害時に各校園長がそれぞれ異なる情報をバラバラに配信することは混乱につながる恐れもあるため、教育委員会から保護者あての緊急情報を一斉に送信できる手段として「学校防災カテゴリ」を追加できるように検討し、運用方法や利用開始時期、周知方法等の全体的な調整を経て、今後実施していく。



## 総合情報配信システムの 利用を検討

矢吹 安子



### 保育園、幼稚園にクーラーの設置を

様に扇風機に  
より対  
応して  
おり、  
現在の  
ところ  
設置は  
難しい。



▲西保育園の遊戯室

**A** 幼稚園の場合、保育時間が短く、こまめな水分補給や園児の体調管理に努めている。小中学校同様に扇風機に  
**Q** 幼稚園の暑い部屋、3歳児の部屋だけでもクーラーの設置を。  
**A** 未設置の保育所の状況や意向を踏まえ保育環境の充実のため、今後設置を検討していく。



### 保育園の遊戯室に今後設置を検討



### ペットのフン害を無くすには



▲犬の散歩時にはフンの始末を

**Q** ペットのフン害は、一見小さな問題と思われるかもしれないが街を歩けばよく見かけることで困っている方や不快に思っている方は多いものである。「彦根市ゴミの散乱およびフン害のない美しいまちづくり条例」はあるものの一向に改善されない状況を考えると新しく罰則を強化するなどの条例を制定しては。  
**A** 罰則として2万円以下の罰金の規定はあるが、飼主のみならず、地域が一体となった取組みが必要であり、より一層の意識の向上を働きかけ、モラル・マナーの向上に繋がるような啓発に努めていきたい。

赤井 康彦



### モラル・マナー向上の啓発に努める



### 稲枝駅西口に通ずるアクセス道路は

その用地取得率は全体の70%であり、早期完了に向けて努力していく。



▲稲枝駅西口停車場線予定地

**Q** 稲枝駅改築については、関係機関の尽力により12月議会に19億7千万円の債務負担行為補正が計上され、平成27年度完成に向けスタートする運びとなるが、西口に通ずるアクセス道路の進捗状況について問う。  
**A** 稲枝駅西口の停車場線については、住宅の連なる85mを来年以降調査結果に基づき用地交渉を進めていく。市道芹橋彦富線800mは用地買収中で取得率は今年度中に全体の21%になる。市道稲枝本庄線400mについても買収中

渡辺 史郎



### 早期完了に向け努力していく

有馬 裕次



## 高齢者住宅の整備や 施設サービスを

高年齢者  
住宅の  
供給状  
況を見  
ながら  
募集も  
検討。



▲市営住宅開出今団地

**Q** 市内の空き家、市営住宅を活用した高齢者の住まいの整備や施設サービスの充実又課題の検討は。

**A** 民間賃貸住宅の空き家を高齢者向けに改修する場合、国が改修費用の一部を補助する制度がある。

**Q** 市営住宅の活用策として開出今団地を高齢者向け住宅としての募集は。

**A** 開出今団地は築40年以上経過し、老朽化も著しく、新たな募集はしていない。ストック活用計画では平屋建住宅は全面的な改善を進めることとなっており、改善の時期等は明確にできないが、改善工事が完了した時には高年齢者住宅の供給状況を見ながら募集も検討。



## 高齢者向け住宅を 検討していく

### 傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されます。各委員会も傍聴できますので、あなたも傍聴してみませんか。

#### 〈本会議の傍聴〉

本会議は、45人まで傍聴できます。傍聴を希望される方は、本会議当日に5階の受け付け（傍聴席の入り口）で、住所、氏名、年齢を記入して、傍聴席に入場してください。

身体に障害のある方にも傍聴していただけるよう、車椅子席（3席）と聴覚障害者用磁気誘導無線装置（補聴器などで、音声がはっきり聞き取れる装置）を設置しています。詳しいことは、議会事務局（TEL：0749-22-0906）にお問い合わせください。

#### 〈委員会の傍聴〉

各委員会（議会運営委員会は、原則として本会議から付託された議案を審査する場合に限る。）も傍聴できます。委員会の傍聴は、先着順に9人までです。委員会の傍聴を希望される方は、委員会当日に受け付け（第3委員会室の入り口）で、所要事項を記入して第3委員会室に入場してください。

#### ※傍聴される方へ

傍聴についてのきまりとして、「彦根市議会傍聴規則」や「彦根市議会委員会傍聴規程」が定められています。これらに定められた注意事項を守って、静かに傍聴してください。

議場コンサートを開催しました



12月定例会開会日に開催された議場コンサートは、市内を拠点に活動する女声合唱団GEMMA（ジェンマ）による歌声が披露されました。  
およそ70人の市民はGEMMAが清涼な声で歌いあげる「クリスマス・キヤロルメドレー」や「二度とない人生だから」など、会場に響き渡る合唱に聴き入っていました。  
最後に「サライ」で締めくくり、ア

ンコールでは「きよしの夜」を披露していただき、会場からは惜しみない拍手が贈られ、心地よい雰囲気包まれたコンサートとなりました。



第18回 議場コンサート(予定)

**日時** 平成25年3月4日(月) 13時から  
**場所** 彦根市議会議場 (市役所5階)  
**出演** 高木充江・今堀智子  
**内容** ソプラノとピアノ演奏  
**その他** 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせ予定

次の定例会は  
**3月**です



本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
3月4日(月)	開会	午前9時
3月11日(月)	代表・個人質問	
3月12日(火)		
3月13日(水)		
3月14日(木)		
3月15日(金)		
3月18日(月)	予算特別委員会	午後2時
3月19日(火)	福祉病院教育常任委員会 市民産業建設常任委員会	
3月21日(木)	企画総務消防常任委員会	午前9時
3月25日(月)	閉会	

編集後記

「市議会だより」の紙面が大きく様変わりしたことは本紙をご覧になっている皆様はお気づきのことと思います。  
昨年8月発行の118号からは表紙写真を全面化し、紙面の中身は文字を大きく、白紙の部分を多く取ることにし、読者の皆様の目線に即した紙面づくりを心掛けてあります。  
今後ますますに市政に関心を持っていただけるような紙面づくりに努めたいと思っております。

議会報編集委員会